

令和7年度 第2回 研究評価委員会

開催日時：令和8年3月9日（月） 13：30～15：45

1. 事後評価対象課題と評価結果

	目標の達成度	得られた成果	成果の取り扱い	今後の試験研究の進め方	合計
乳牛の糞粒度分布を指標とした新たな栄養管理技術の開発 (大家畜研究課 R5～R7)	4.0	4.3	4.3	4.0	16.5

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・本技術を生産現場で利用する場合、どの程度の頭数の糞粒度をモニタリングすれば、牛群を代表するデータとなるか精査していただきたい。
- ・糞粒度の調査や解析について、AI技術を活用してみてもどうか。
- ・飼料メーカーでの飼料設計に本技術の結果を活かしていただきたい。
- ・今後もデータを蓄積し、本技術の精度を高めていただきたい。

※事後評価結果の数字は、各評価項目について、次の判断基準により4名の評価委員が評価した点数の平均値です。

1. 目標の達成度

- 5点：期待以上に目的を達成した
- 4点：ある程度目標を達成した
- 2点：あまり目標を達成していない
- 1点：ほとんど目標を達成していない

2. 得られた成果

- 5点：期待以上の成果が得られた
- 4点：ある程度の成果が得られた
- 2点：あまり成果が得られていない
- 1点：ほとんど成果が得られていない

3. 成果の発展性

- 5点：大いに普及させる
- 4点：ある程度普及させる
- 2点：あまり普及させるべきではない
- 1点：普及させるべきではない

4. 今後の進め方

- 5点：関連研究を積極的に発展させる
- 4点：発展させた方がよい
- 2点：発展させない方がよい
- 1点：むしろ一線を画して完全に終了させる